

第9回 まちづくり常任委員会報告

9月2日

○調査事項

(1) 町立診療所の常勤医確保対策に係る現状について

5月31日から常勤医の募集を開始し、2名から問い合わせ等があったが、7月19日に社会医療法人鉦路孝仁会を訪問し医師確保に関して依頼をしたところ、7月下旬に法人会より医師派遣の調整をしていると連絡があり、法人会職員の身分のまま出向という形で調整をしている。

医師は田川豊秋氏で、10月1日から診療所で勤務していただく予定。年収4千万円程度で条件提示されて



田川医師

いる。

④ 研修費、図書費は今までどおり付けて行くのか。

⑤ 本町にいる間は、本町で手当する。

⑥ 鉦路孝仁会には、どういう経緯で訪問したのか。

⑦ 祝日に非常勤として来ていただいている先生にお力添えいただいた。

(2) 財産の無償譲渡について

幌延福祉会がグループホーム「あすなろ」として利用している旧北電寮を、福祉会に無償貸与する。理由は、災害時の安全を確保するためスプリンクラーの設置が必要となり、設置に対する補助制度があるが、対象施設が民間所有の施設に限られているため。

(3) 財産の取得について

ウインドウズのタブレットを児童生徒用75台、教師用23台、画像転送機能付きアクセスポイント13台、タブレットパソコン収納カート8台を購入する予定。タ

レットはウェブカメラ、ビデオ機能などに優れており、学習に対する興味・関心の向上、ドリル学習での活用、先生からの指示・説明を確実に伝えたり、課題の把握を確実にすることが期待される。

⑧ 導入初期、導入後、どのような研修をするのか。

⑨ 導入時はメーカーで先生を対象に研修する。その後は、北星学園にこれを使って授業の出来る先生がいるので、その方に来ていただき研修を予定している。

⑩ 専門の指導者に来てもらう、慣れるまで指導してもらう体制をとっては。

⑪ ICTの支援員は研修を受けて来ている。今年は色んな所から先生に来てもらって、研修をしていく。

(4) JR北海道の事業範囲の見直しについて

8月25日に、極端に利用の少ない糠南、南幌延、下沼駅の廃止の提案がされた。町が駅の経費を負担する場合は廃止を見送る用意があり、町政懇談会等で説明をしてご意見を伺って、11月

中に方針を決定する。
⑫ 町の考えは、3駅を全部残したいのか。

⑬ 地域交通の1つの足でもあるので、ご意見を聞きながら、議会の皆さんにもご相談をして判断をしたい。

(5) 和解及び損害賠償の額の決定について

平成24年2月21日に発生した公営住宅落雪事故に関し、被害者と9月1日に和解と損害賠償の額について合意することが出来た。過失割合は、町が8割、被害者が2割で、賠償額全額が全国町村会総合賠償保険から支払われる予定。



▲ホロノエル通りの視察

▼宮園川の視察



編集後記

季節もすっかり秋です。長く厳しい冬もすぐそこまですという時期になりましたが、皆様方はいかがお過ごしでしょうか。風邪が流行っているようです。十分ご注意ください。

さて、9月24日に行いました町民の皆様との意見交換会に、お忙しい中お集まりくださいまして有難うございました。また、議会と議員、そしてこれからの幌延町に対して、貴重なご意見をいただき深く感謝を申し上げます。

10月13日に常任委員会を開催し、ご意見いただいた所を全員で視察して来ました。今後は担当部局と話をし、その結果を次回の議会報に掲載したいと思っております。

これからも皆様のご意見をお待ちしております。

- 編集委員長 西澤 裕之
- 副委員長 鷺見 悟
- 委員 斎賀 弘孝
- 委員 高橋 秀之